



一中だより

5月号

令和2年5月11日
小平市立小平第一中学校

■令和2年度の学校経営に向けて

校長 栗林昭彦

臨時休業の続く中ですが、今年度の小平一中としての教育活動が、市に提出した教育課程とそれに基づく学校経営計画に基づき始まっています。右は教育目標を達成するための策として掲げているもので、この下にさらに具体的な37の方策が掲げられます。(学校経営計画の全文は本校ホームページに掲載しています)

今年度は例年とはかなり異なる状況のため、学校経営計画にも急遽手直しをしました。特に学習面で、休業による学び落としが発生しないよう、各教科で計画的な指導を実施するとともに、進行管理を徹底することをポイントに掲げています。

また中学校では来年度から新しい学習指導要領に基づいて授業が行われるようになります。今年中に教科書の採択も実施され、来年度からは新たな教科書での学習となることから、それらに対する準備も必要になってきますので、その点も重要なポイントとして掲げています。

かつてない状況の中で、本校もどのように教育活動を進め、生徒に様々な力を身に付けさせるか、知恵の出どころだと思っています。いかなる状況であれ、学校の機能を十分に活用し、生徒・保護者・地域の皆様の期待に応えられるよう、今年度も取り組んでまいります。

■「一中ブックバック」のお知らせ

読書を推進している本校としては、この臨時休業期間に図書室を使ってもらえないことには忸怩たる思いがありました。何とかしたいと思い、今回「一中ブックバック」を実施することとしました。先週末メールでアンケートを配信しています。その結果に基づき、「初級」「中級」の、2冊1セットのバックを準備し、希望者には登校日に貸し出します。どんな本が手許に行くかはわかりませんが、新たな本との出会いがあるかもしれません。準備のためメールの締め切りは本日です。回答していない方は急ぎご回答ください。

I 学びの柱

- 1 新学習指導要領への移行を意識した授業改善
- 2 読書活動の充実・推進
- 3 家庭学習習慣の定着
- 4 様々な人材や機会の活用

II 健康・安全の柱

- 1 豊かな人間性の育成
- 2 特別支援教育の充実
- 3 安全教育の充実
- 4 健康・体力の向上
- 5 進路指導の充実

III つながりの柱

- 1 地域による支援活動の拡大・充実
- 2 地域・保護者とのつながりの強化



■オンライン学習に向けた準備について

休業期間が続き、オンライン学習の必要性が大きな話題になっています。先日、小池都知事がオンライン学習の環境整備に向けた緊急支援としてPCなど端末を貸し出す事業に、補正予算84億円を計上すると発表しました。しかしこれらが実際に使用できるものとして、いつ生徒たちの手元に届くのかという具体的な話にはまだなっていません。いますぐ、という必要性には答えられそうにはありません。



本校では、「無償で、双方向のやり取りができる」コンテンツがないか、この間研究をしてきました。現段階では Google classroom というコンテンツが最もその条件に近いものであろうと考えています。そこでまず、各学年1学級ずつと1組で、この試行をすることとし、本日該当学級の生徒には担任から説明をしました。まずはこれを使えるような準備をそれぞれの生徒が行うことができるかどうか、そのうえで健康観察などの双方向のやりとりが順調にすすめられるかを試してみることにします。無論試行ですので、うまくいかないことも考えられます。ただ校内にサポートデスクを開設しているわけではないので、ご連絡をいただいてもお答えできないことが多いと思います。むしろ「わからない できない」という情報も貴重な試行の結果だと思っていますので、お子さんを通じて登校日の際に担任まで申し出ていただければと思います。。

また、順次 Youtube を活用した授業の配信も行いう予定です。これらについてもこの後お知らせをしてまいります。

いずれ試行の結果に基づき、全校に広げていきたいと思っています。コロナウィルス感染症収束後にも、有効な使い方が出ればいいな、と思っています。

■今後の予定について

5月19日（火）登校日（登校のしかた、時間等は11日と同様）

5月26日（火）登校日（ // ）

6月 1日（月）再開予定日

再開時の登校の方法等については26日に説明します

緊急事態宣言が解除されていない状況ですので、登校にあたっては必ず検温をするなど体調を把握し、不調のある時はご自宅で待機してください。またマスクの着用についても引き続きお願いをいたします。

なお、今学期に予定されていた主な学校行事（修学旅行、体育大会等）は 1 学期には行いません。今後の状況により、2 学期以降への順延もしくは中止を考えてまいります。また、保護者会、期末考査についても再開の状況を考慮しつつ、決定してまいります。